

第5次加西市総合計画

一般質問



植田 通孝
(21 政会)

問 活力ある加西を未来につなぐため、総合計画へ明記するのは、心豊かな市民生活を担保する夢があふれる施策だけではない。現状の厳しい課題と、近い将来に到来する大きな課題の正確な把握と、その解決策並びに有効な対処方法の明記を期待する。直面する課題は、アンケートやワークショップ等で把握できるが、中長期の課題は相当研ぎ澄まされた先見性がなければ、正確に把握できず、中長期ビジョンの策定の方向性を誤る恐れがある。中長期の大きな課題としては、少子高齢化や経済の空洞化、国と地方の財政再

建、地球温暖化や原発事故に端を発したエネルギーの転換等、枚挙にいとまがない。これらの諸問題が加西市民にどんな影響をもたらすかを察知し、先手先手で施策を講じていくことを約束する文書が総合計画である。すなわち、総合計画は加西市民が将来にわたって安心して心豊かに暮らし続けるための羅針盤であらねばならない。

そこで、若者が働きたくなる産業の創出と誘致の方法についてどのように考えているのか。

答 若者が働きたくなる産業の創出、誘致は、本市の人口増を考える上で非常に重要な課題であり、大変難しい問題です。若者が働きたくなるのは有名企業や、スマートな業種を一義的に考えますが、本質的にはやりがい、働きがいがあり、能力が発揮でき正當に評価されることが、若者が働きた

くなる産業、仕事だと考えています。市内の中小企業の中でも、条件は十分にそろっていると考えます。加西市はものづくりの盛んな地域でもあり、他の企業がまねできないオンリーワン商品を製造する会社が多く存在しています。今後は商工会議所等と連携し、若者がこのような市内企業に就職できるよう、規模の拡大等を図る施策を検討するとともに、これまでにない新しい産業の誘致と起業も検討していきます。

■その他の質問項目

- ・芸術文化の発揚
- ・市職員人材育成基本方針
- ・加西ならではの教育理念

加西インター周辺の活性化は

一般質問



長田 謙一
(21 政会)

問 加西市にとって、加西インターは高速道路における玄関口であるにもかかわらず、開発が進んでいない。行政と地域が一体となり加西の玄関口となるインター周辺地域を活性化させる開発整備が重要。

インター周辺地域の農地の圃場整備がまだ終了していない。今、圃場整備をすとなれば、農地所有者の負担が大きいと聞かすが、子ども、孫に素晴らしい農地を残していこうとすれば、市民が一体となり圃場整備を行う必要がある。

また、インター出入り口南北県道の活性化について、平成14年

4月に県において市街地調整区域の課題を解決する特別指定区域制度が創設され、インター周辺各町で特別指定区域が設定されることだが、インター周辺は都市計画法で自由に建築や開発ができない。

加西インターは、加西市の玄関口ととらえ交通の要所であり、整備すべきと考えるが見解は。

答 インター周辺についても、当然圃場整備がなされるべきであり、その方針に変更はありません。農家の担い手不足の現状においては、農業の作業性を高め、圃場の大型化と面積の集約、あるいは利用権が求められます。地域住民の考えをよく聞き、計画に盛り込むことが大切であると考えます。

インター出入り口南北県道の活性化については、現在改定作業中の都市計画マスタープランにおいて、全庁的な施策と調整を図りな

がら、有効な土地利用を図る区域と位置づけていきます。現在、都市計画課、農政課、インター周辺の代表の方々が土地利用を図るため勉強会を行っています。今後、特別指定区域制度を活用した地域の課題に対応するための土地利用計画を策定し、地域の活性化を図りたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・加西市民病院の院外処方
- ・市役所におけるコンプライアンス整備
- ・任期付職員内定取り消し感謝料請求事件